

【年次・領域】

入学年次（1年次）・球技：ネット型「バレーボール」

【目的・趣旨】

①「主体的・対話的で深い学び」につながるICTの活用 ②課題発見・課題解決につながるICTの活用

1 実施の概要

- (1) 実施環境：体育館（Wi-Fi環境無し）、タブレット端末上のカメラ使用
- (2) 使用機器：教員用タブレット1台、生徒用タブレット3台、テレビ、HDMIケーブル、HDMI・Type-Cアダプタ
- (3) 活用ソフト：PowerPoint資料、タブレット内カメラ
- (4) 活用の目的：課題発見・課題解決のサポート、ゲーム（試合）分析（思考力、判断力、表現力等）
- (5) 実施月・対象：令和4年10月・入学年次（1年次）

2 活用の実際

(1) 授業での活用場面

【育成を目指す資質・能力】

自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術の課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを他者に伝えることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)

【学習の流れ】

【導入】

前回の復習、本時の目標・内容の確認

【展開】

- ・前時のゲーム(試合)動画を分析(グループ学習)
- ・分析を活かしたゲームを実施

【まとめ】

本時の振り返り・次時の見通し

【活用場面①】

場面：導入

- <ゲーム(試合)分析ポイントの説明>
- ・ゲーム(試合)分析ポイントについて、分析の仕方をPowerPointで説明した。
- ・前時のゲーム(試合)での良い点・改善点について紹介した。

【活用場面①写真等】

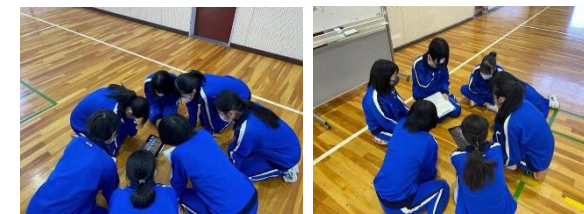


【活用場面②場面】

場面：展開

- <ゲーム(試合)分析>
- ・前時に生徒用タブレットと教員用タブレットでゲーム(試合)の様子を撮影し、その動画をもとに分析した。☆空間に注目
- ・ワークシートをもとにグループで交流した。

【活用場面②写真等】



動画をもとに各グループで話し合う様子

3 参加した生徒の感想等

- ・初めて自分がバレーボールをプレーしている姿を見ることができた。
- ・コート内でどこに空いた空間ができているのか、どこを守ると良いのか分かったような気がする。
- ・チームの仲間に教えてもらうことで理解できる場所があった。
- ・ゲーム（試合）の分析は難しかった。
- ・ゲーム中（試合中）に思っていたよりも動いていなかった。

4 成果と課題

【成果】

- ① PowerPointを作成し、授業で何をするのか生徒に提示したことにより見通しを持った学びができた。
- ② ゲーム（試合）を分析するという難しい内容であったが、事前に着目するポイントを生徒に伝えることで、明確なゲーム（試合）分析ができている生徒が多かった。
- ③ 動画を活用することで、コート内の空いた空間をカバーするという意識を持たせることができた。
- ④ ICTを活用し、仲間と意見交流することで考えを整理したり、新たな発見ができる場面が多かった。

【課題】

- ① ゲーム（試合）分析ポイント説明用タブレットとゲーム（試合）撮影用タブレットが同じであったため、常時ゲーム（試合）分析ポイントを提示しておくことができなかった。（もう1台タブレットを用意）
- ② ゲーム（試合）分析の時間が足りていないチームもあったため、あらかじめポイントになるようなシーンを抜粋して生徒に示すと良かった。（ゲーム（試合）をしていないチームに空いた場所や時間でゲーム（試合）の分析をさせると良かった。）
- ③ ICTの活用と活動時間の確保をどちらも満足させることがやはり難しい。体育の時間を楽しみにしている生徒が多いので、より良い活用方法を模索していきたい。

5 その他（活動風景等）

動画分析注目ポイント！

- ① 自チームのコートの空いてしまっている場所は？
- ② どんな時に誰が空いた場所をカバーする？
- ③ 相手コートのよく空く場所は？

PowerPoint
資料

